Informative Monthly Newsletter
福生青年会議所広報誌
FussaExpress
JCI http://fussajc.com/
2010
07

理事長の言葉

「波乱の世を駆け抜けた風雲児の軌跡に学ぶ」

そもそも権力も無い、金も無い人間が大きな仕事をするために必要な「力」とは何かを坂本龍馬から学んで見たいと思う。作家の堺屋太一が書かれた書物から抜粋させて頂きながら、私の個人的な考えも交えて書きたいと思います。

龍馬を、政治家として見ると、とても熱血漢があり独立不羈（他から何の束縛も受けないこと。何の制約も受けることなく、みずからの考えに従って事を行うこと。）

の気概を持ち、幕末の変革期に現れた異能（人にすぐれた才能）な政治家であったが、あまりにも一匹狼的で、出たところ勝負の人物だったと見られている。

経営者として見ると、海運貿易という大きなビジョンを掲げ、日本で最初の商社と言われる亀山社中、後の海援隊を創設しているが、経営実務の感覚に乏しく、いかにも投機的（損失の危険を冒しながら大きな利益をねらってする行為）でとても金儲けがうまかったとは思えないし、実際には龍馬が亡くなった後に遺産が残っていたという話は聞いた事がないそうです。

薩長同盟の時に、龍馬が中立ちして外国から武器を購入できない長州に変わり薩摩が買い入れ、長州の米と交換させるという離れ業を成し遂げているが、これも経済取引というよりは、政治取引であったのだと思われる。では、そんな坂本龍馬が私たちの心を引き付けて、一代の英雄として人気を得ているのでしょうか？その一つに、介の素浪人（なかだちし助ける無一物の浪人）が、

士農工商

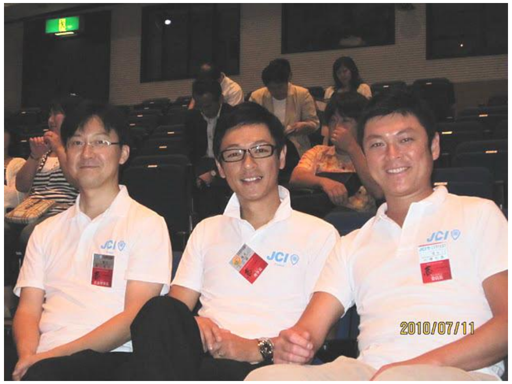
（士と農と工と商。江戸時代の封権社会の階級観念に従って上位から並べたもの）で表される身分社会の中で、時代や組織を超越した才能でフルに発揮し、天下を動かした、という爽快感がある　からではないだろうか

実は日本は、「偉くない人」つまり権力もない、金もない人間が大きな仕事のできる国であり、これは世界に誇れる伝統であると述べている。幕末から明治維新にかけてそういう人物が大勢いた。坂本龍馬や高杉晋作のように、20代の人物が活躍した時代である。

ところが今の若い人たちに、「何か世の中を変えるようなことをやりたくないですか」と聞くと、「そんなことを言ったら、会社であれば上司に怒られ、組織であれば綺麗ごとと言われたり、カッコつけていると言われたりする」と考える人が多いのではないでしょうか？歴史を見てみると、幕末に「志」を持った人たちは半分が殺されている。

今の世の中で日本を変えよう！と「志」を持って動いても殺される世の中ではない。現在で言うならば、個人的な感情を好き嫌いで物事を判断し、嫌いであれば仲間を

「志」一人ひとりの情熱を持って！



作り烏合の衆となり、理不尽な解釈で正当化しようとする働きがあるのも事実だと思う。正しい事を正しく見られない世の中は歴史上の例を見れば明らかのように思う。

だからこそ、我々、青年会議所は、どこまでも庶民の目線で、国を超え、人種も超え、宗教感に対してもお互いに尊重、尊敬し合い世界平和の根本理念に改めて立つべき時に来ているのだと心より実感している。

第33代理事長
入江　誠一

サロン報告

7月22日（木曜日）にサロン「ビジネスに役立つPC講座」が開催されました。

当日は多くの皆様に参加して頂き、PCについての関心の高さを伺えることが出来ました。

今回は野口直前理事長を講師にお迎えして「PCを如何に仕事に役立てるか」に焦点を合わせ、インターネット上で無料に利用出来るサービスについて様々なお話、実演をして頂きました。

今回のサロンに参加して「インターネット上のサービスは日々進化して、ユーザーにとって大変便利になっている」ことを実感しました。

仕事やJC活動においても効率化などの面で大変有益なツールであり、お店等を経営している人達にとっては宣伝にも使えるこれらのサービスを利用しない手は無いと思いました。

近々、第2回を行えればと思います。その時は是非とも皆様ご参加下さい。

また、予定者の方のご参加も宜しくお願いします。

拡大友好委員会　南場伸輔

◆拡大友好委員会からのお知らせ◆

福生青年会議所では常に新入会員を募集しております。お近くで青年会議所のメンバーとしてふさわしい方、また、可能性を秘めている方等、どんな些細な情報でも構いません。一緒に地域活動、社会活動に取り組んでみませんか？

もちろん、噂で聞いた、面識は一度もない方々でも結構です。小さな情報からすくい上げ、会員拡大の為に全メンバーで取り組んで行きたいと思います。お近くにいましたら、拡大友好委員会までお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

拡大友好委員会　委員長　佐藤　和義

連絡先：
10_kakudai_fussa
@
googlegroups.com

8月サロン案内

『8月サロン案内』

左記日程で8月サロンを開催致します。
内容はについては未だ「ヒミツ」ではありますが、きっと皆様の役に立つ内容です。

是非とも皆様ご参加ください。
予定者の方のご参加もお待ちしています！

日時：8月23日（月曜日）
20時00分～22時00分

場所：事務局
内容：ヒミツ（未定）

Happy birthday

宮木　孝昌　君　　1973年8月2日生まれ

今月のコラム

今年40歳を迎えた。20代で感じた40歳の方はとんでもなくオヤジといった感じでた。共感できるものなんて何一つあるものか！（笑）なんて思っていた。実はそんな風に思っていたことをすっかり忘れていた。

最近、弊社に24歳の若者が入社した。一緒に仕事をするのだが、なんか今ひとつかみ合わない。

私が仕事を厳しく指導をするといちいち落ち込み・・　昼飯を一緒に食べても非常に緊張している。

こっちは、もっと気楽にやれよ、お前のミスなんか想定済みだよ、元気よくやればそれでいいよ、ぐらいにしか思っていないのだが・・　若者？はおおきな隔たりを私との間に感じているようなのだ。

あ、そりゃそうだ、昔を思い出した！相手は私のことをとんでもなくおっさん、同じ人間としてみていないのだ。

目の前のオッサンが、普通にかわいい女の子がいれば、かわいいと思うし、お腹も減れば、仕事でミスをする、ときには泣きたくなるミスをすることも、知らないらしいのだ。

私も新人時代、お付き合いのある社長から、二十歳過ぎればみんな同じ！！ビビらないで頑張れ！とずいぶん励まされたものだった。本当は同じではないのだけど・・でもずいぶん助けられた言葉であった。

うちの新入社員にも同じ言葉をかけ、同じ人間だという場面をこれから沢山見てもらい、のびのびと仕事をしてもらいたいものである。　私も大いに年配の先輩と渡り合って、頑張っていきたいものだ。

広報委員会　渡辺淳

Informative Monthly Newsletter
福生青年会議所広報誌
FussaExpress
発行所　福生青年会議所　総務広報委員会
住　所　〒197-0022東京都福生市本町112-2　福生商店街協同組合会館1階
TEL: 042-551-6004 FAX042-551-6024 Email: info@fussajc.com URL: http://fussajc.com

8月　例会　案内
福生青年会議所　第460回　例会
「市民の目線で見る七夕まつり」

今回は・・
「市民の目線で見る七夕まつり」と題して福生青年会議所第460回例会を開催致します。
毎年恒例となっております福生七夕祭りですが、今年は60周年という佳節を迎えます。そこで、市民・来場者の目線で七夕まつりをあらゆる角度で見ていただき、今後の七夕まつりをさらに盛り上げていただくための意見書を作成するための例会を開催します。
是非、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

記

開催日：　2010年8月8日(日曜日)
18時00分　登録開始
18時30分　例会開始
20時00分　例会終了

会場：　福生青年会議所　事務局

＊現役メンバーの皆様はJCポロシャツを着用して参加して下さい。

出欠連絡先：
まちの輪推進委員会
幹事　品川　真理
携帯　090―4674―2613
FAX　042―556―9794
E-mail：
maricco1105@yahoo.co.jp

6月事業　ナイトサファリ報告

6月26日羽村動物園にて、「羽村動物園　ナイトサファリ」が行われました。
当日は、あいにくの雨模様で、蒸し暑かったのですが、集まった20名を超える子供達は、真っ暗の中で、懐中電灯に光る動物達の野性的な目を、興奮しながら見て、はしゃいでました。
そんな中、南場君が子供達に妙に溶け込んでいるのが、印象的でした(笑)
中々、このような体験はできないと思います。ご協力いただいた動物園のスタッフの方々大変ありがとうございました。

総務広報委員会　委員　高山　優

7月事業
子供たちの国際交流報告

7月14日(水)に福生第2小学校の体育館にて『子供たちの国際交流』をテーマとしボーゲームで日米の子供達に遊んでもらい交流を深めてもらう事業を行いました。
事業当日はユースセンターの子供達が20名とふっさっこの広場の子供達が45名と予想を遥かに超えた大盛況の動員となりましたが、ボードゲームをして、運動もして、多くの子供達が純粋な笑顔でその時を過ごし、又その時を楽しむ様子は本当に国籍の違いを感じさせない素晴らしいものになったと思います。
企画・準備・現場スタッフとして多大なご協力を頂きましたメンバーとOBの皆様、本当に感謝です！ありがとうございました。(子供達の運動担当の方、本当にお疲れ様でした(笑)子供達の体力は侮れないですね。)

そして今回の事業の目的を理解し、喜び、協力して頂きました、福生市教育委員会 課長 高木様、課長補佐 高橋様、ふっさっこの広場の職員の皆様、横田ユースセンターの皆様、NPO法人「世界のボードゲームを広める会ゆうもあ」の松本無双様、本当にありがとうございました。

反省点等、多々ありますが、今後も今回の反省と成功を糧により良い事業を皆で協力してできればと思います。皆様本当にありがとうございました。

WE ARE FRIEND!!!

まちの輪推進委員会 委員 齋藤 洋

7月　例会　報告
福生青年会議所　第459回　例会
「友達って何やねん！」

7月例会　御礼

先日、羽村コミュニティーセンターにて行われた例会、「友達って何やねん!？」に多数お越し頂き、まことにありがとうございます。
準備万端？で望みましたが、蓋を開けてみたら設営で大慌て、動員はちっとも成果が上がらずで、お粗末な設営となってしまいました。しかし、皆様に協力していただき何とか無事終えることが出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。
さて講演ですが、さすがレモンさん。一人でも多くの人の悩みを聞きたい、自殺と言う悲しい選択をしてしまう人を一人でも助けたい、そんな熱い想いで全国を回っているそのエネルギーに圧倒されました。一部ではレモンさんにおおいに語ってもらいました。印象に残ったのは人と愛情を持って接すること、みんなたどって行けば血がつながっている、皆シンセキなんだ、そう思えば相手を許せるし、また分かり合えること。

もうひとつは、「北風と太陽」の話。北風のように無理やりやらせるのではなく、太陽のようにその気にさせることが大事なんだ、ということ。そのほかにも多々ありましたが、大いに気づきのある講演でした。
また2部では、福生、羽村、瑞穂の中学生8名に壇上に上がってもらい、質問コーナーを設けました。さすがに全国子供電話相談をやられているだけあって、気持ちのこもった返答に、中学生もすっきりした顔をしていたのが印象的でした。大人の方もおおいに参考になったのではないでしょうか。
今回、反省点等多々ありますが、ひとの輪推進委員会に設営させていただき、本当にありがとうございました。

ひとの輪推進委員会
委員長　宇治山義章

―直前がゆく―

北風でなく、太陽たれ

先日の例会で、レモンさんこと山本シュウさんの講演を聞きました。今回でお話しを伺うのは5回目ですが、今回もたくさんの「感性の扉」を開けていただき、たくさんの気づきをいただきました。
シュウさんの話の中核は「幸せになるためのコミュニケーション術」であり、その方法論として「『愛(思いやり)』が大事」という主張を展開していると私は認識しています。すぐに感情的になり、頭ごなしに相手を責め、自分の意見をごり押ししようとすることには、誰でも少なからず心当たりがあるのではないでしょうか。JCの仲間に、カミさんに、子どもに、職場の後輩に、「正しい私の考えにあなたは従うべき」という「上から目線」で相手を屈服させようとして、逆に反抗されてしまう・・・そんな経験はありませんか？(私は良くあります)。これは我々世代が体に組み込まれている「昭和のチップ」の影響なのだそうです。我々が子どもの頃は、そういう「頭ごなし教育」が当たり前のようにまかり通った時代でした。しかし、今は時代が変わり、社会が変わり、チップをバージョンアップする時期に来ているのです。クレーマーと呼ばれる「自分さえ良ければ」という人種が増え、孤独の中で自殺する人々も増えている。また、大人だけではなく、シュウさんがパーソナリティを務める子ども電話相談室リアルでは、毎週子どもたちの悲痛な魂の叫びがたくさん届いているそうです。今こそ、「平成のチップ」に載せ替えるべき時なのです。
平成のチップは、イソップ物語「北風と太陽」で言うところの「太陽」です。相手に激しく風を吹き付けて服をはぎ取ろうとする北風は「昭和のチップ」と言えるでしょう。
講演会では地元の中学生がシュウさんに悩みを相談するというコーナーがありましたが、そこでは「不真面目な生徒が合唱コンクールにちゃんと参加してくれない」という相談がありました。シュウさんはそれに対し、相手の気持ちを想像し、「愛」を持って接するように言いました。「ちゃんとやれ！」と北風のように相手に非難するのではなく、相手の言い分を認め、賞賛する気持ちを根底に持って太陽のように接することの大切さを説いていました。そして、たとえそれがうまくいかなくても、そのように振る舞うことはあなたにとって必ず役に立つ、だからがんばってチャレンジしてみようと励ましていました。
これは単に中学生へのアドバイスにとどまらず、現代人すべてに当てはまる名回答だと思います。
JCには主義主張の異なる個性的でアクの強い(^^)メンバーが勢揃いしています。激しく主張をぶつけ合うことを良しとする風潮もあります。ただ、一歩間違えれば取り返しの付かない深い傷をつけることもあります。お互いに疲弊してしまい組織としての推進力が著しく失われることもあります。
「あいつはこういうやつだ」と決めつけていないでしょうか。「自分の考えは間違っていない」と思い込んでないでしょうか。北風のように相手に吹き付けて、かえって相手の態度を硬化させてないでしょうか。「どうしたら相手を言うとおりにできるか」ではなく、「どうしたら相手の思いが理解できるか」と考えるべきではないでしょうか。
昭和チップ世代は「メンツ世代」だと言えるかもしれません。「譲歩するなんてメンツに関わる！」なんて感情は棄て去って、お互いが相手の主張を少しずつ理解し、歩み寄るべき時代が到来していると思います。まちづくり団体として、時代や社会の流れを敏感に察知する感性を持つべきではないでしょうか。
次年度体制も少しずつ始まり、慌ただしくなってきます。心を亡くすと書いて「忙しい」とよく言われます。そんな時期だからこそ、お互いがしっかりと「真心」を持ち、「太陽」のように「相手の利益」を考えながら、上手に主張し合える「平成のチップ」に切り替えてみてはどうでしょうか。

直前理事長　野口哲也